



電友会四国連合会報

第 11 号

75. 7

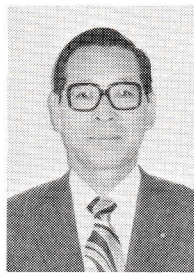
目 次

徳島の五十年度	徳島電気通信部長	二
電信電話拡充計画について	四国電気通信局 文書広報課	二
電退連総会開催		三
香川電友会総会開催		三
電友会四国連合会理事会開催		四
事務局からのおねがい		四
電気関係功労者の表彰		四
長寿漫筆(六)	猪谷嘉夫	四
年金改訂法律案の概要		五
表紙のことば	莊野丹秀	五
おしらせ		五
明治の学生	高橋林二郎	六
紙上旅行	田中義隆	六
小野小町が道後で湯治	栗田信雄	六
会員消息		七
短歌、俳句、訃報		一二
投稿規程		一二

徳島の五十年

徳島電気通信部長

賀 川 明 孝



電友会のみな
さん、梅雨空の
続くうっとうし
い毎日ですが、
お元気で過ごし
のこととお慶び
申し上げます。

さて、機会を頂きましたので、徳島通信部管内
の五十年の主要施策等についてお知らせい
たします。

今年は、電信電話設備拡充第五次五年計
画の第三年目にあたりますが、徳島通信部管内
は画期的な、しかも問題の多い年になりそう
です。

まず加入電話数では今秋までに二十万台を
突破する見込です。昭和二十七年の電電公社
発足時には、県下で僅か九、八八五でしたか
ら、この二十二年間にちょうど二十倍の電話
になるわけです。全国的にみても同倍率です
から、県下の電話は全国並みに順調に伸び、
普及率は一〇〇人当り二五に達します。

次に、電電公社の公約である「申し込めば
すぐつく電話」にするいわゆる即時架設の時
代に一步前進する年です。毎年々々の増設に
よって申込積滞は減少の一途をたどり、県下
でも四十八年度末には一一、〇二三あったも
のが、四十九年度末には六、〇六三と半減し

ました。五十年には、二〇、一〇〇の加入
電話を販売しますので、その七〇％は本年度
の申込ということです。従って、申込から架
設までの待合期間はぐんと短くなり、都市部
では二、三か月に短縮できるようになり、全
県下のにも逐次このような状態になる見込です。

このような時代になりますと、局内設備や
線路設備を細かく確実に管理し、この上に立
つて的確に需要を予測してこれに対応できる
よう設備を増設して行く必要があります。ま
た、事務処理や工事のし方についても大幅に
検討し即応態勢を整える必要があります。今
年からこういった即時架設時代の基礎づくり
と諸準備を進めたいと思っています。

本年度実施する新規サービスは「ポケット
ベル」が四市を中心に近々開始し、また加入
データーの「科学技術計算」、「在庫管理」
の各システムが今秋サービス開始する予定と
なっています。

また、大きな工事としては、徳島西局が七
階建に上部増築するほか、牟岐局の増築工事
に着手しました。自動改式は川上局が五月、
川口、大歩危局が秋にサービス開始を予定し
ており、これで県下の自動化率は九七％に達
する見込で、オール自動の日もそう遠くでは
ありません。

今電電公社で一番深刻な問題は、厳しい経
営内容であります。一昨年の石油ショック以
来の物価高騰と、逐年の加入電話の激増に伴
って低利用の住宅電話の占める率が大きくな
り極めてむづかしい状態となりました。公社
の四十九年度は約二千億円の赤字見とおしと
なり、五十年度は当初から約二千五百億円の

赤字を計上という状況です。

こんなところから、今年は従来にも増して
強力に増収対策を進めるとともに経費の節減
に努めなければなりません。そして国民から
信頼を頂くためにも営業、運用、保全等の日
常サービスの向上安定を計るため一段と努力
をしている次第です。

このような、重大な年に直面していますの
で、諸先輩の残された輝かしい電気通信事業
を更に健全に発展させるため、最善の努力を傾
注すべく覚悟を新にしている次第です。

各方面にわたってのご支援とご協力を切に
お願いいたします。

最後になりましたが、みなさまの益々のご
健康とご多幸をお祈りいたします。

電信電話

拡充計画について

四国電気通信局文書広報課

昭和五十年の四国における電信電話設備
拡充計画の概要は次のとおりです。

◎一般加入電話

一三五、〇〇〇（昨年と同じ）

県別内訳

愛媛 五二、七〇〇
香川 三一、二〇〇
徳島 二〇、一〇〇
高知 二一、〇〇〇

四年連続して一〇万以上の架設となってい
ます。新規架設の大半が住宅用電話となりま
す。

◎ビル電話

すべての需要に応じます。

一般加入電話、ビル電話等の増設により五十年末の加入電話数は約一〇八万となり、一〇〇人当りの普及率は二七個となる見込みです。

◎公衆電話

一、四八七個(四九年度は一、三〇三個)

この結果、五十年末の公衆電話数は約二三、二〇〇個となります。

◎P B X

公社設置を希望するものはすべて応ずることとし、内線電話機五、〇〇〇個の販売を見込んでいます。

◎テレックス

二二〇個を販売します。(四九年度は二八〇個)

◎プッシュホン

九、〇〇〇個を販売します。(四九年度は一、一〇〇個)

本年度は北条、大洲、伊予三島、国分寺、石井、室戸など二五市三二町に販売を拡大します。

◎ホームテレホン、ビジネスホン、親子電話

三九、〇〇〇個を販売します。(四九年度は五一、一〇〇個)

◎キャッチホン

六〇〇個を販売します。

販売地域は、四県庁所在地のほか主要一市となります。

◎データ通信

販売在庫管理サービスと科学技術計算サービスは松山、高松につづいて徳島及び高知

の両地区でもサービスを開始するよう準備しています。

◎ポケットベル

松山、高松につづいて徳島、高知でもサービスを開始します。

(高知では既に四月末からサービスを始めております)

◎ダイヤル化

次の二九局がサービスを開始します。

愛媛 神和、大久、新宮、大川、肱川、

明浜、一本松、日吉、俵津、狩浜、

大保木

香川 女木島、男木島、財田、仲南、

吉野

徳島 高銓、川上、川口、大歩危

高知 上八川、大槌、美良布、東豊永、

四万川、佐賀、下川口、貝ノ川、

柏島

この結果、五十年末には管内の約七二パーセントがダイヤル式局となり、ダイヤル化率は約九八、八となります。

◎そのほか御荘―宿毛間のマイクロウェーブ回線工事と、八幡浜―宇和島間などの同軸ケーブル回線の工事を実施します。

電退連総会開催

電電公社退職者団体連合会の第六回総会が、五月二一日東京の京橋会館で開催され、当会からは赤羽副会長が出席した。

昭和四九年度の事業報告、決算報告が承認され、昭和五十年の事業計画、収支予算が

審議決定された。

昭和五十年事業計画

本会は会員相互の連絡親交を密にし、電電公社退職者の生活の安定、福祉の増進を図りあわせて電信電話事業に寄与せんとする会の目的達成のため、本年度においては特に下記施策の推進を図るものとする。

一 恩給・共済年金受給者の処遇改善に關

し、前年度に引続き関係方面に陳情運動を展開する。これが為必要あるときは僚

友団体と緊密な連繋をとる。

二 生存者叙勲の範囲の拡大について要望する。

三 殉職者の全国慰霊祭の実現を図る。

四 創立五周年記念事業の一端として電退連五周年年譜を作成する。

香川電友会総会開催

いささか肌汗ばむような好天に恵まれた五月二十七日、市内西の丸町開拓会館大広間において本年度定期総会を開催した。出席予定者は一〇三名であったが、当日差支えのできた方もあって結果的には九七名となり、農繁期等の関係もあるが若干淋しい気もした。

総会は午前十一時会長あいさつから始まり議長に村尾武雄氏を選出し、一般経過報告、会計報告および会計監査報告も終り、会則一部改正に入る。今回の改正は会費の値上げと慶弔費の増額を行なうことが本命であり、審議の結果、賛成多数で承認された。

この後、会長改選に移ったが、会員互選の

結果前会長猪谷嘉夫氏が再選された。また副会長以下の役員は会長指名により全員が引続き指名された。

以上で総会を終り十二時三十分から顧問を招待して懇談会となり、香川通信部長あいさつの後、新入会者を紹介して乾盃となり、各会員久方振りの再会に話の花が咲き盛会裡に十四時半頃次の機会を期待しつつ散会した。

(高松 香川)

電友会四国連合会

理事会開催

昭和五十年年度第一回理事会在去る五月二十九日午後二時から通信局別館四階会議室において次のとおり開催された。

赤剌副会長から五月二一日東京で行なわれた電退連第六回総会の状況報告のあと四十九年度会務報告、会計報告、五十年年度事業計画、収支予算、規約改正等の案を審議し一部保留、一部修正のうえ次回理事会上に提出することになった。そのほか電退連に対する要望および四国連合会の開催等について協議し午後四時半閉会ひきつづき会報編集委員会を開催し六時半に終了した。

なお本年度の連合会総会は十月三十日高知電信電話会館で開催、翌三一日地元高知県退職者の会総会出席者と合同懇親会を高知駅前第一ホテルで開催することになった。

事務局からのおねがい

会員死亡のときは

すぐに通知を

今般、すでに退職した永年勤続者の死亡についても、公社総裁等から弔電が出されることになりました。

また会報第四号でも説明しているように、退職者に対しても一定の資格、年限に達しておれば死亡者叙勲の審議もされます。

会員が死亡した時は、誰からでもよいから電友会四国連合会「松山（〇八九九）三六一二〇二三番」へ連絡してください。これについては全会員がお互に気をつけて連絡をとるようお願いします。

電気関係功労者の表彰

去る三月二五日の電灯九七周年電気記念日に主催団体（代表社団法人日本電気協会）から満八十歳以上の電気関係功労者として、次の三名が表彰され別紙の感謝状と記念品（盃）がそれぞれ授与されました。心からお喜び申し上げます。

一宮多喜男氏（松山）

中 五郎次氏（須崎）

山岡 庄三氏（松山）

感謝状

貴会は八十歳以上の長寿を保たれ永年電気関係事業の進歩発達に貢献されましたその御功労は洵に大なるものがあります
茲に電気記念日に際し記念品を贈り深甚なる感謝の意を表します

昭和五十年三月二十五日
電気記念日行事主催団体代表
社団法人 日本電気協会
会長 横山 通夫 ㊞

長寿漫筆(六)

高松 猪谷 嘉夫

老人ぼけ対策 体が老化するに伴って頭の方も惚けてくる。殊に何もしないで隠居然としておれば尚更のことである。老人惚けの現象としては度忘れ、置き忘れ、仕まい忘れ道で知合に会って咄嗟にその人の姓名が思い出せないなど記憶力思考力の減退が目だつ。こうして雑文を書いておる私も、簡単な字を忘れていたり、ある事柄を適切に表現する辞句や語句がどうしても思い出せなくて度々辞書や事典をめくらざるを得ないことがある。体の老化を運動で防ぐとすれば頭の体操も亦必要である。惚けに少しでもブレイキをかける為に私は、ザル碁を打ったり常にしぼられることを覚悟の上で下手な麻雀を時々楽しんでおる。しぼられるのは手数料か訓練料を払っておると思えば満更腹もたない。この他謡のけいこはつづけておるし、日曜大工クラブに加入して日曜大工もする。日曜とか月曜の区別のない現在では素人大工か便利屋見たいなものでブロック塀もつけばコンクリート

打ちもする。秋には棒檉などの摘みもやる。昨年の夏は物置を建てたが本職に頼むか市販の組立式のものに比べて体裁は劣るが堅牢さでは倍以上、それに費用は三分の一でできた。尤も人件費は零だからでもあるペンキ塗もする。昨今は職人の賃金が高いばかりでなく少の修繕物には中々きてくれない。人手不足でこれはアメリカ辺りでは以前からこの様な現象が起って、結局修繕や小仕事は自分でせざるを得ない。現在世界的に「DO IT YOURSELF」と称するサークルがある（手づくりし少々ことは自身でやれという意）が必然の成り行きである。大概のことは自分でするが危険の伴うものや規則で無資格者がすることを禁じておることはしないことにしておる。自分で工作するとすれば時には寸法書きも作らなければならぬしミリ単位の計算をすることもあり、それに工作しておるときは他の事を忘れて無我の境になることができてつまらぬ悩み事も暫時は忘却できる功德があるし体も十二分動かせる。亦出来上ればまずい乍らも完成の喜びを味わうことができて一石二鳥の得られるものがある。

あれこれと思いつくままを書いてきたが、健康などというものは頓服と違って今日飲んでから明日効果が出るというものではない。五年十年やって始めて良かったのではないかと思える程度のものである。従って固い決心と強い意思をもって根よくやらなければならぬ。これまで書いた事柄で成程と思えるものがあって自分も一つ実行したいとお考え下されば望外の喜びとする。何んでもよいから実行するときは最初から大袈裟にしないことが肝要、回数とか時間を少くして余り苦痛を感じない程度でスタートして、慣れるに従い回数や時間を増して毎日つづけてやる習慣をつける。人間は習慣ともなれば左程苦痛に思わなくて実行ができるからである。半月や一月やって止すようなら始めからやらない方がよいだろう。

これまで色々と書いてきた中には多少専門じみたこともあると思われるかも知れないが、元来私は医療や薬品に関する通俗書や新聞などの解説記事を読むのに興味をもっておる。それに私の祖父は田舎で医者をしていて、全盛のときは往診用に馬を二頭飼っていたといふことを祖母から聞いたこともある。読んで役にたちそうなものがあれば切抜きしたり或は印をつけておくことにしておる。この拙文中にもこれを引用したものがある。この拙文の見解でないことを書き添えて此の長談義の筆を擱くことにする。（3・10）

「長寿漫筆」は本号をもって終わります。紙面の関係で分載したことを、お詫びします。紙面の関係でお、最初からのものが入り用の方には、取りまとお送りしますから、申し出て下さい。（編集係）

年金改定法律案の概要

公共企業体職員等共済組合の年金改善に関する法律案は、三月二十八日国会に提出されて審議中であるが、この案の概要は次のとおりです。

一 年金額の引き上げ

1 二九・三% 五〇年八月一日実施

（昭和四九年三月三十一日までに退職された方に適要）

2 前記の二九・三%増額は、四五年三月三十一日までに退職された方について、五〇年一月一日に、次の表のとおり再計算をして改定されます。

退職年度	引き上げ率
34年度以前	38.1%
35年度	35.0
36 "	34.5
37 "	34.1
38 "	33.8
39 "	32.9
40 "	33.0
41 "	32.5
42 "	31.8
43 "	31.2
44 "	30.3

二 老令者及び遺族に対する優遇措置

1 八〇才以上のかたが受ける年金について、在職期間が一定年数を超える場合、超えた年数に応じて、 $\frac{1}{300}$ から $\frac{10}{300}$ までの間で加算される。

2 戦務加算の適用年令が、七〇才から六五才に引き下げられる。

表紙のことば

内海 莊 野 丹 秀（孝）
夏が来ると、よしこの囃子にのって踊り狂う四国名物阿波おどりを思い出す。それは真夏の夜の夢のようであった。阿波娘の皆さんが本当に美しく見えた、懐かしい徳島電話局時代のあのころの追憶。徳島電話局の皆さんは、今も元気で夏が来ると阿波おどりを楽しく踊っていることでしょう。

お知らせ

○電話番号が次のとおり変りました。

連合会事務局（〇八九九）三六―二〇二三

○公社の職員録（四国管内）一、二〇〇（含送料）電気通信共済会へ申込んで下さい。

明治の学生

松山 高橋林二郎

大耕舎の大山澄太さんが、俳句の師荻原井泉水を鎌倉のお宅へお伺いしたとき、談話たま松山市出身の学習院長安倍能成のことに
およんだ。大山さんが「安倍さんと、先生は大学の同窓ときいています」と質問した。
すると井泉水は笑いながら「安倍君は在学中何度も落第しているの、卒業は僕のほうが早かったよ」と答えられた。ところで、当の井泉水も一高時代、俳句に凝りすぎて一回落第しているのである。このことは「明治の学生」という随筆のなかで井泉水みずから書いているので間違いはあるまい。

先年、井泉水の高等学校時代の同窓会が都内の某所で催され、十人ばかり集まった。そのなかに元国鉄総裁の十河信二、前記の安倍能成の顔もあった。席上、安倍さんが、北海道を旅行したとき貰ったというサビタの木の杖をみせて自慢された。散会するとき、会場に忘れ物があつた。それは一足さきに帰った安倍さんのサビタの木の杖であつた。このユーモラスな情景を、井泉水は「君が自慢にもってきた杖も、それを忘れて帰ったとは、これも元気の証拠であろう。祝着々々」と述べておられた。

安倍さんといえば、安倍さんについて一高校長になり、さらに安倍さんの後任として文部大臣となった天野貞祐さんは、中学時代大患のため数年間休学されたそうである。このため学窓に戻ったときは、以前の同級生はすでに高校、大学に進み、いまの同級生からは

親父、親父とからかわれた。天野さんはそのころのことを回想して「私には青春がなかった」と述べておられる。青春がなかったということは、青春をたのしむゆとりがなかったということであろうが、ここにも明治の学生の一つの型をみるような気がする。

紙上旅行

松山 田中 義隆

こんど連合会事務局へこられた玉川さんとは、むかし四国学園で一緒だった。老来（といつては失礼だが）相変らずお元気で、旅行好きである。気が向くとひとりで出かけられるという。

私も旅行好きだが、ひとりではおっくうだし、老妻とでは始終もめるだろう。「だれかよい人を連れてゆきなさい」と玉川さんはおっしゃるが、残念ながらそんな心当りもない乗り物の混雑などを考えていると、次第に面倒になってくる。

それでも、観光案内書を見ているのはたのしい。娘が旅行するときは、いつもプランを頼まれる。さっそく、いそいそと取りかかる娘が帰宅して、「お父さん、ありがとう。予定どおり、うまくいったわよ」というと、鼻が高くなって、ちょっと乾杯したくなる。

旅行が面倒になるのは、その旅費で自宅で一杯飲んでいる方がなんぼかよいではないか、と思うからである。時刻表と地図さえあれば、日本全国を思うままに紙上旅行ができる。晩酌でほろりと酔えば、しみじみと旅情もわいてくる。よほど気がきいている。と思うのは、やはり年のせいだろうか――。

小野小町が道後で湯治

松山 栗田 信雄

日本美女の代表、小野小町は出羽の郡司小野良真の子で、十二才の時その家を出て小野篁に養われ、十八才で宮中に入り、嵯峨、淳和の朝廷に仕え、歌才と美ぼうで世にその名を高め、人びとの羨望を一身に集めていた。しかし理想が高く遂に花の咲く時を失い、四十三才で無学無能の大江維章の妻となったがそれも半年で離婚し、その後は諸国を流浪して終りを確めることができないといわれている。

その小町が道後の温泉で湯治したという伝説がある。

昔、小野村小野谷（現在松山市）というところに梅元寺という古刹があつた。この寺は天平年間、僧行基の開祖といわれ、本尊は薬師如来である。

流浪の旅に出た小町は、ある時薬病にかかったが、住吉の神教に従って道後の湯で治療するためこの寺にこもり、一心に薬師如来に病氣平癒を祈願したが、なかなかよくならない。ところが百日の満願の朝、夢の中で薬師が現われたので小町は「南無薬師諸病解除の願なれば、身より仏の名こそ惜しけれ」と詠んで薬師をなじると「春雨の降ると見えしがはれにけりそのみのかさをそこに脱ぎおけ」と返歌があつたので、喜びのあまり目が覚めた。このことがあってから、一日一日と病がよくなり、さしもの難病も全快したので、この寺に三年滞在し、薬師の像を彫つてこの歌をその体中に納めこの寺に安置したというの

である。(この寺は天和元年、いまの北梅本に移され、寺号も正観寺と改められ、梅元寺はなお小野谷にあったが明治七年に廃寺となる)

さきに述べたように小町は晩年に諸国を流浪しているのが全国にわたって数えきれぬほどの生地と墓地が伝えられており、同じような伝説が各地に残っており、薬師如来祈願についてもこれと同じことが群馬県北甘楽郡のある村に伝わっているとのことである。(小野村史、伊予の古跡)

初めに小町の生涯について略述した。しかしかつて読んだNHK大学文学講座には、彼女の生死、素姓は全く不明であると記されていたことを覚えていた。また、読売新聞社発行日本の歴史三巻には「彼女は出羽の郡司の女だともいい、早く父母兄弟に死別して孤独となりついに乞食婆になったともいわれているが、その一生はすべて伝説の雲にとざされている。ただ彼女の歌集などから見ると、結婚したこともあり、東北に関係ある女らしくまた子孫もあったらしいけれども、彼女について諸伝説は謡曲に取り上げられ整頓されている」と記されている。

謡曲同好の諸兄にはご存知のように七小町といわれた小町の一生の事跡を語り伝えた俗談を取り入れたものがある。即ち草子洗小町通小町、鵜鷄小町、卒塔婆小町、関寺小町、清水小町、高安小町がこれである。

次号ではこれらによって小町の跡を追ってみることにする。

会員消息

(年令の下の数
字は退職年次です)

高知 武政 春子 五五才 四四年

健康状態 良好です。

職業 懷石料理、茶会貸席「宗安寺山荘」

一、茶道 但し目下は職業の一部となったので趣味とは云えないが……。

二、野の花、山の花の採集

三、庭造り

四、読書

その他

茶会用貸席として出発した私の店でしたが最近茶室の使用より、むしろ茶料理の店として、お茶人さん以外のお客様も多くなつてまいりました。世間に余り例をみない職業だけに始めはやはり不安もありましたが、今では結構、趣味の範囲を脱する事もむずかしくない自信が生まれました。

高知市郊外の静かな山里「土佐の嵯峨野」へぜひ一度お立ち寄り下さい(予約電話〇八八八—四四—二二〇〇・四四—三四—一〇)

徳島 江口 安雄 六六才 四二年

健康状態 糖尿病で月に一度は病院通いをしておりますが、感ずるところあって、この

ところ半年余り御無沙汰しております。病いは気からと云われていますが、要するに余り気にしないのが、経過がよいように思われます家族構成 二男三女、公社関係としては、只一人長男が目下本社の調査役として四国勢のため中央で活躍しているだけで、あとはみんな民間です。

趣味 下手の横好きで囲碁、将棋、マージャン、競艇ETC、一応何でもやりますが、いずれもおつき合い程度の半人前です。月に月謝のいるものばかりノその軽減策として、気違い物価の折でもあり、一昨年奨められるままに駅の駐車場に二度のつとめをしております二日勤務すれば三日休みと云う至極老人向きなのにみせられたからです。時々公社関係の知人もみえますので、無料奉仕して感謝されております。

古来、老いは足からと云われますので、時折、開催される地元老人会の八十八ヶ所参りとか、温泉旅行に参加して無聊を慰めております

松山 吉田 丸蔵 七二才 三七七

私は昭和三七七退職し同時に司法書士となつて一三年法務局、裁判所、検察庁等へ提出する書類の作成を業としています。公社で監査部訟務八年の経験は何と言つても有難く、毎日出入りせねばならない関係の役所にも旧知の人が多く仕事上のアドバイスも気楽にして貰い複雑な現代社会における国民の権利を護る仕事の一つを負って活躍しその間私の事業も順調に伸び監査部在職当時より多忙な日

を送っています。

一方遊びの方は監査部在職当時監査局から出張された次長のお伴をしてはじめて坂出の城山ゴルフ場へ行ったとき（パートナーでなく単なるお供）次長から折角来たのだから君もボールを叩いてみたらと言われ雨のそぼふる中で次長のクラブを借り次長が教える通り叩いたところ一七〇ヤード位飛んだ。君やるじゃないか、ナイスショットだと言われた。生れて初めて握ったクラブ、それも本コース。気を良くし俺もやろうと思いつたのが三五年の春、当時ゴルフをやる連中と言えは部長級で二、三名それに秘書課長の三浦さん位いで今頃のように誰も彼もがやるものではなかった。私は当時部長だった泉さんと客野ゴルフへ通い、退職記念品代八万円余り全部を投入しウイソンのフルセットを仕入れ家の庭にも練習場を設けて一生懸命クラブを振って見たがとうとううまくならず仕舞。

司法書士になつてからはコース代には事欠くことはないが今度は暇がない。昼間は専ら法律問題について相談に来るお客さん相手、一方愛媛県司法書士会の副会長を連続四期八年をやらされ法務局その他関係機関へ出す書類の作成は専ら夜間作業。夜一時二時はこんな状態ではいくら若さと元気を誇る私でも体がもたないと気付き一昨年役員を辞任、仕事の方も法律出身の若い者に任せ、もうこの辺で遊ばないと後が無いと思い、正月休を利用して家族と共にハワイ、グアム南方諸島めぐりをやって心を慰し、月四、五回コースに出てゴルフを楽しむ健康維持と年をとらないことに努めています。

なお事務所を次のところに設けています。
老後を健康で楽しく暮すのには心配事は禁物です。不動産その他についてご心配のある方はどうぞ遠慮なく申付けて下さい。無料で厳秘主義でご相談に応じます（松山市三番町六一五一一九 扶桑ビル一階・吉田事務所）

徳島 齊藤 満 七三才 三五年

一、最近軽い神経痛で時々医師にかかるが日常生活に大した支障なく、老妻と息子夫婦、孫二人の同居で楽しく過している。

二、毎日家庭内の雑用と畑いじり（約三畝で日用野菜は大体自給）で孫も小学校通いで手数もかからぬので退屈しのぎと健康保持のため室内ゴルフ（パチンコ）に行っている。時間的にはこの方が長いが腹減らしには一番良で夏は涼しく冬は暖かく途中は老人無料市バスでその上時々お土産までいただけこれで食事でも付けば言うことなしですが、収支決算は赤字勝ちです。

なお老人会には福祉年金や老人医療に差別扱いがあるので出席しないことにしている
三、年金をいただくのが唯一の楽しみですが一休禅師の冥土の旅の一里塚式ですがやはり次の支給日や増額通知が待ち遠しいです。関係各位のご尽力で多少なりとも毎年増額せられ感謝している。

勝手な希望で恐縮ですが増額通知の節、併せて算出根拠となる改定仮定俸給額を何等かの方法でお知らせ願えるか又は知る方法があれば御教示願えれば幸甚に存じます。

松山 大野 正義 六六才 四二年

私が俳句をやりはじめて二十年近くになるが一向にうまくならない。その原因は基礎的教養に欠け、詩的センスが無く、努力が足りない、など自分で思い当たっているが因果なことに止められない。月に二回の句会で数十人の人達と交流が出来るし、苦心して俳句を作ることによって頭の体操になるとすれば恍惚の人にならずに済むかもしれない。

私は俳句をはじめて良かったと思ひ、途中で止めずに続けて来たことも良かったと思っている。

俳句を作ったり、習字をしたり、庭いじりをしたり、孫の守りをしたりして極めてのんびりムードの日常である。

好々爺と言はれんも良し黄水仙

脇町 坂本辰太郎 七〇才 四一年

一、健康状態はまあまあです。

家族は妻、長男、嫁、孫の六人暮らし
二、日常生活状況

老妻と共に家事その他孫の守り、孫は四才と二才の男の児で相手が相手でなかなかの事です。長男は自営事業にとりくみ嫁は町役場へ勤務しています。老いては子に従えて家計生計は長男の世帯内で年金は戴き医療も本年から無料です。趣味ありません
老妻と年に一、二回旅行と一家揃って休日の都度一日行楽日帰位です。

徳島 日下 久雄 七〇才 三八年

歳月のたつのはほんとうに早い、私も市バスの老人無料優待や医療費無料となる年齢になってしまいました。今まで老人呼ばわりされるのを拒否してきた私も、老人福祉という名で外部から老人の刻印を押されてしまいました。

私の健康ですが、おかげさまで四十余年の在職中、と云っても、この間満州や、シンガポール、南スマトラ等に従軍した期間もありますが、外地の暑さ寒さの中にも、内地でも病氣らしい病氣もせずに勤めてくれましたし、退職後も肩の荷が軽くなったせいか、一そう健康に恵まれ、余生をのんびりと感謝して暮らしています。

家族関係ですが、子供四人は戦前生れであり、すでに成人しそれぞれ一男一女があり、従って今は八人の孫を持つ老人となっていました。

二四〇坪の庭が与えられているおかげで、春から秋までの天候のよい日は庭樹に登ったり、梯子に乗って剪定したり、芝生を刈ったりで時をすごし、また、キリスト教会の役員をしている関係で、毎週発行する週報のガリ版切りを、この年齢になってやっておりますが、これも老ばれない一つの方法として喜んでご奉仕させていただいております。

愚妻は過ぐる年、闘病生活五年の持主ですが、今はまあまあという無理のきかない身体ながら、家庭菜園と庭に花を咲かせては、人に差しあげたり教会に生花奉仕をして余生を

楽しんでいます。

温古会の皆さんの中に、衛生組合の役員をしている方が多く、私も衛生組合連合会加茂名支部の副支部長をしている関係で、何かと会合のある都度お目にかかれて久濶の挨拶が出来るのも楽しみです。

去る日、県庁で何のことが判らないまま、三〇年前の昭和一九年一月一日の日付で正七位の叙位をうけました。

私宅から徳島の繁華街に出るには約六キロありますが、急用でない限り片道は歩け歩けに心がけております。健康にはとても調子がよくないので、ぜひおすすめします。

土佐中村 西尾 勇 七〇才 三九年

健康状態

四十七年に丁度一カ年間高知市民病院へ入院しましたが、退院してからは一層元気になり三度の食事もおいしく、晩の一ぱいが又格別で目下のところあの世たへは行かなくてもよいようです。

職業

三十九年定年退職後すぐ四国電気通信局建設部にはいり、県内の電話工事の監督の補助を四十五年迄やりました。現在は家内と二人で貸本と玩具商を自宅ですべてやっています。

趣味

若い時から海の釣が好きで、夏沖のハエにおよいで釣るのが何よりで、小さい魚は釣らず一キロ以上のサシミになる魚しか釣らない事に決めてあります。

その他

余りにも月日の経つのが早く残念にたえません。目下極めて元気ですので貯金して旅行をしたいと念じて居ります。

今治 白石フジエ 六六才 四一年

花の季節も過ぎ青葉日々に濃くなるこのころも、おかげさまで至極元気に畑いじりなどをしていきます。作物はなかなか出来ませんが、雑草は日々驚くほどのびます。

いつの間にか草の中に花が咲いているありさまに、あわてて鎌で雑草を刈り取る始末です。それでも年中自分が切り取って楽しむには事欠きません。ありがたいと思っています。いつの間にか年を重ね筆持つことも絶えて久しく人様のお便り聞くのはうれしいのに、自分で書くことは気おくれで、あちらこちらへの不義理申訳なくおわび申し上げます。

退職してから早や九年を過ぎました。週一回位今治電報電話局へよせていただき若い人達との出会いに世の中のうつり変りに驚くこともありますが、教えられ考えさせられることの多いこのころです。

高松 奥田 敏雄 六三才 四五年

日常生活

共済会の福祉相談役として香川県内の公社職員は勿論、共済会及び共済会関係会社の役員の方々に共済会が福祉事業として行なっ

ている相互扶助部、火災共済、遺族共済、終身共済、進学結婚共済、住宅共済（家を建てる土地購入の場合に貸付を受けるもの）の普及銀行ローン貸付の案内その他、自動車事故の激増に伴う自動車保険（任意保険）の加入促進に努めるため県内を走り廻っています。

佐川 山下 茂 六八才 四〇年

健康状態

至って健康に恵まれ数十年来何一つ病氣したことがありません。

職業

鍼灸を業としています。

趣味

畑を作るのと読書が何よりも好きで晴耕雨読の生活を送っています。藪をくぐるのも好きで、よその人に頼まれて薪も二週間に一日位作ります。林の中で風の音、小鳥の声を聞くのも好きです。

その他

二月六日母が九十五才で他界したのが寂しいですが、四月三日に中電会があり五月二三日に福山市の浦で高等科六回生の同窓会があるので楽しみにしています。老人会の会長です。春のシーズンには旅行の勧誘があちこちから来るのが気苦勞です。区長もしていますが今年は選挙が三回見込まれるのも大変です。役場からは、アイウエオ順に入場券が来ますが、夫婦、親子の姓が違うのが多く四五〇人の入場券を世帯別にまとめるのが一苦勞です。

西条 高橋 数一 六八才 四〇年

昭和四十年五月退職。早いものでもうまる十年経ちました。思うところがあって、退職後何の職にも就きませんでした。

昨年末腰痛に襲われて暫く入院した以外、これといった病氣もせずに過ぎました。六十二歳の愚妻も、元氣だとはいえぬが、家事の処理や菜園いじりにはどうやら支障のない日常です。

大学院を出て阪大の助手に採用された三男に、嫁をあてがいたいと思っております。いい娘さんがおりませんか。

いくつかの文化団体等の理事、評議員をしてありますが、辞退を思うこの頃です。

希望は、年金にも給与と同じアップ率を。

高松 川津ヨシ子 六二才 四六年

都築電気工業(株)高松支店

一、健康状態、家族の状況等

良好である。月一、二回血圧測定し特に注意を払っている。妹と二人で水いらず、淋しい中にもたのしく暮らしている。

二、日常生活、趣味、その他の活動等

毎朝ラジオローカルニュース（入社当時会社の創立記念品としていただいた時計付ラジオ、六時五〇分にセットしてある）に目をさまし、ニュースを聞きながら出勤支度、退職後の会社勤めは健康のため非常に良かったと今更らながら感謝の念で一ぱい

です。趣味は音楽をきいてたのしむ程度、マージャン少々。

その他の活動としては女子退職者の世話をしながら全員相互の親睦をはかりつつある。

阿波池田 早川八十八 六四才 四四年

昭和四四年五月、三六年と四ヶ月で退職しました。其の後一ヶ年嘱託として電話局に行き翌四五年徳島通信建設に籍を置き四七年まで徳島市内にてアパートを借り電通の各工事に工事長として従事していました。

四七年池田に引上げ自宅が国道三二号線池田町バイパス道路に掛り建設省へ屋敷住居共に買上げとなり現住所に立退き年金月額七万二千余の支給の金額にて生活して居る次第です。

現在の物価の上昇では生活するには大変困難です。退職者の会より年金引上げの運動を強力にして下さっては居るものの現職者の引上げ率から見ると今一段の強力な運動を依頼してやまないものであります。四九年一月一八日午後一時頃急に左手の自由がきなくな成り医者の手当が早かった為か今では自由に動いてはいるものの今も療養しています。近い内回復できそうです。回復すれば吉野川へアユを釣に行くのを楽しみにして居ります。

徳島 岩田 秀 六七才 四二年

昭和四二年五月鴨島を最後に退職、直ちに四国通信工業に入社、徳島出張所勤務、四四年一月日本電話建設と合併、日本電通工業発足。本社所属で徳島支店づとめとなる。担務は工法の指導監査。社内検査、新人の訓練等四国四県を股にかけ、自改、加増、分局開始市外ケーブル、地集電話工事から鋪先(土木)工事等々。山野のルートを跋涉、電柱に登りインスペクト続け。お蔭で脚力にはいささか自信がある。

この二月初め現在高田に転任の娘家族の招待もあり五日の旅程で、妙高高原赤倉スキー場へ滑りに行った。赤倉では、若い人にまじり、年甲斐もなく余りにハッスルし過ぎて帰宅後感冒にかかりしばらく休み、家族から年寄の冷や水だとさんざん冷やかされた次第。家族は老妻と長男夫婦孫二人と平穩無事に過している。感謝、ありがたい。

趣味は山あるき、磯釣り、我流の盆栽いじり、と阪神びいきのプロ野球テレビ観戦。

汚濁と虚飾に満ちたでたらめな、まちがいだらけの「石が流れて木の葉が沈む」現世の姿に年甲斐もなく腹立たしさを覚える昨今。

「いや待てよ、これも現われの現象世界……浄化を願ひ——明るい円満調和の世界を念じ何時も、どこでも人間同志を拝みたい。

高瀬 関 貞夫 五六才 四七年

自営(有) 関商事

一、健康状態はいたって元氣、できるだけ長持ちさせたい。

家族は関商事のそれぞれの担務を引受けてもらっている。無任所大臣は私だけ、それでも時には「ひや汗」をかくときがある。最近のように経済状態が悪いと「ひや汗」をかく回数も多くなる。ある程度の景気回復はほしいと思っている。

二、関商事発足後三年余やっと軌道に乗ってきた。もともと三十年に余って勤めていると、一般社会から大分立ちおくれしているあまり会社に入ると十と一がある。

そこで一番奮起三十年来楽しんできた盆栽に精魂を傾けた。四十九年一月仁尾町天王という所に盆栽店「つたじま園」を開店した。結果は良好だが、やりかかったら全国に通用するような銘木を作りたいと一生懸命で毎日が楽しく、また一日が早い。こんな毎日が続いています。

高松 宮脇 義雄 六四才 四四年

一、食道に袋ができていたといわれてレントゲン写真を見ながら医師の説明を聞いた。親父が食道ガン、弟が胃ガンで亡くなった関係でテッキリ自分もと狼狽して改めて総合病院で精密検査を受けて結果を主治医に説明して貰うまでの期間が二週間あったその間の気持、人生をアキラメました。「あの世とかには両親も兄弟も居てくれると思う」「……主治医がそんなにガンになりたいのかとの一発一言で蘇生しました。一・八

リットル一週間の晩酌を十日間にする程度の養生で三ヶ月が過ぎました。しみじみ病は気からということを感じました。年末か中元時以外は夫婦二人暮しです。

二、朝は犬と散歩、カナリヤ五十羽の給餌、他は雑用、五月から菊作り(夫婦で十年程続いています)

三、年金額の改定期を四月に改訂して戴きたい

松山 玉川 邁 六四才 四四年

家族状況 家内と二人暮らし、市内に息子と嫁に行った娘との二世帯が住んでいて孫が両方で五人います。

趣味 俳句と小旅行。月一回定期的に開いている電電友佳里(ユーカー)句会と他の俳句グループ二つにはいついていて駄句の製造に努めています。旅行は専ら民宿、国民宿舎公社の宿泊施設を利用し、最少の経費で最高に楽しんでいます。一泊旅行を含めると年に四、五回になるでしょう。目下はそれに生甲斐みたいなのを感じています。

また番町公民館主催(市・NHK後援)のテレビゼミナール元禄太平記コースと日本史探訪コースに参加しそれぞれ月一回の頭脳レクを楽しんでいます。参加者は女性が多くそれも中年クラスの者が殆んどです、老人ばかりには効果は十分ありますよ。

四月一日から連合会事務局で病気で辞められた鈴木さんのあとを引継いでいます。どうぞよろしくお願致します。

高松 太平 一夫 六四才 四三年

一、昭和四三年阿南電報電話局長を最後に退職、関西通信建設株式会社に五年勤務、その後、国際警備保障で機械警備の仕事をして非にと頼まれたので行ってみたが面白くないのでやめて遊んでいたら、近所の田伏建設興業へ来てくれんかと云うので今もそこに勤めています。

二、健康状態良好

三男二女の子供に夫々相棒を付けたら皆出て行って今では母と夫婦の三人暮らしです。

三、年寄りの三人暮らしですから時々潤いを求めるため好きな麻雀をやっていますが負けるばかりです、往年の威力は全然ありません、年の程を感じます。

四、退職者で公社の指名会社を作ってはどうかと考えた事がありました。

短 歌

松山 藤田 基孝

寺の庭に親しみがき老松の売られて本堂と客殿建ちぬ

岩の壁を背に建つ庫裏も納経所も片流れに聳きて露のしたたる

崖に谷にめぐる三十六童子みな顔そむけ立たせ居ましき

夕もやのおりし川原の露天風呂人の浴むらし湯気立ちのぼる

学校の堅きボールはめぐらせる金網越えて吾が庭に来る

俳 句

今治 阿曾沼二郎

藤咲いて神の泉の水鳴れる
六地藏の供華として藤崖に垂る
葉桜となる来迎寺の道遠し
岩底覆ひ埋めて藤咲ける
投票へ病む妻伴れる若葉径

訃 報

次の方々が亡くなりました。謹んで哀悼の意を表します。

氏 名	死亡月日	行年	所 属
林 啓一	50・1・14	六九	鴨 島
木村兵次郎	50・2・26	七五	" "
井上 清	50・3・18	六八	" "
妹尾 健次	50・3・19	六三	徳 島
向井 義雄	50・4・6	六六	鳴 門
岡崎 秀行	50・4・23	六六	松 山
中井 春次郎	50・4・30	七六	八幡浜
石井 徳蔵	50・5・1	七一	壬生川

投 稿 規 程

○ 会員消息 (次の要領でねがいます)

- 1 氏名、年令、退職年次、勤め先等
 - 2 健康状態、家族の状況等
 - 3 日常生活、趣味、その活動等
 - 4 退職者としての希望、意見等
- 字数は四〇〇字以内厳守

○ 趣味の作品

- 1 短歌、俳句、川柳 (五首又は五句以内)
 - 2 随筆、随想 (六〇〇字以内)
- 原稿締切 八月一日
次号発行予定 一〇月一日

編 集 後 記

この会報がお手許に届くころは、五〇年度の大幅年金増額も国会を通過していることと思います。物価の高騰はやや鈍化したというものの、高値安定では年金生活者のくらしも並大抵ではありません。ますます力を結集して、引続き陳情運動を展開しましょう。

はじめて手がけた会報で、不出来で申し訳ありません。沢山の会員からおなつかしい消息をいただき感謝しています。紙面の都合で多少省略させていただいた原稿もありますことをお詫びします。(玉川記)

電友会四国連合会会報 第一号

昭和五〇年七月一日発行

編集発行 電友会四国連合会

事務局

松山市一番町四丁目

四国電気通信局内

電話(〇八九九)三六一二〇二三

印刷 四国電話印刷株式会社